



# 宝永小だより

No.17

福井市宝永小学校

令和7年11月27日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～  
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

## 目標達成めざした「宝永マラソンデー」 10月29日(水)

今年度も、「宝永マラソンデー」

を実施しました。各自が目標タイムを設定し、各学年の距離を自分の力に合ったスピードで走り抜くことにより、粘り強くやり抜くたくましい心と健康な体を養うことを目的にしています。10月中旬から、大休みを「GO!GO!マラソントイム」と位置付け、練習を重ねました。校庭の内側を速めの速度で走る「ぐんぐんコース」、外側をゆったりとした速度で走る「のびのびコース」とし、子どもたちは、自分で練習コースを選び、練習に取り組みました。体育の時間には、実際のコースを試走した上で、自分の目標タイムを決めて、本番に臨みました。

1日順延となりましたが、当日は、絶好のマラソン日和となりました。保護者の皆様の応援もあり、子どもたちは緊張しながらも、目標達成をめざして走り切ることができました。多くの仲間や保護者の皆様の応援が、子どもたちの力になりました。ありがとうございました。子どもたちには、「完走賞」が渡されました。今後も、体力の向上や心身の健康の保持増進のために、自ら進んで運動する習慣を形成し、生涯を通じて運動に親しんでほしいと考えています。



<1・2年生：800m>



<園児の皆さんの応援も力になりました>

安全確保にご協力くださった地域交通安全活動推進委員の前田様、保護者ボランティアの皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。



<3・4年生：1200m>



<5・6年生：1600m>



<1年児童の振り返り>みんながおうえんしてくれたからがんばってはいりました。みんながおうえんしてくれたからタイムが良かったです。

<2年児童の振り返り>今日、マラソンデーでもくひょうは4ぶん30びょうだったけど、4ぶん13びょうではしれてうれしかったです。3年生になったらもっとはやくなりたいです。

<3年児童の振り返り>わたしは、今日校内マラソンデーをやって目標タイムをたっせいでできなかったのがうれしかったです。でもうれしかった事もありました。それは一つ前の人においつけなかったけど、目標に向けてがんばりたかったことができたと思うからです。なぜならさい後の所であきらめずにほんきで走れたからです。

<4年児童の振り返り>目標タイムよりは速くなかったけど、試走記録よりも9秒速くなっていて、うれしかったです。自分の全力を試走よりも出して走ったから、試走のときよりすごくつかれました。来年はきりが長くなるけど、今年よりもがんばりたいです。

<5年児童の振り返り>わたしは、最初7分12秒で本番の記録は7分2秒で10秒はよくなって、うれしかったです。目標タイムにはとどかなかったです。だけど、がんばりたかったことはできました。さいごの方もうでをふってはいりきることができました。次するときもあきらめず、うでをふっていい記録をのこしたいです。タイムもちぢめられたらいいです。目標タイムになるといいです。他の人も、さいごまで走っていてすごいと思いました。

<6年児童の振り返り>今日のマラソン大会では、自分の全力を出せたのでよかったです。試走では、がんばって8分15秒のタイムで、まんぞくしていたけど、本番では、しっかり前の人についていくことができました。さいごのラストスパートでは、今までうしろでついていった人もおいぬいて、本気を出して走ることができました。8分15秒から9秒ちぢんで、8分はきれなかったけど、自分の全力を出してマラソンができたのでよかったです。



## 4年生 障がい者スポーツ等を体験する 10月29日(水)

時間に、「福祉」についての学習を進めています。今回は、福井市役所障がい福祉課企画係の3名の方々をお招きして、障がい者スポーツ等を体験しました。車いすスラローム、ドッジビー、フールツバスケット、伝言ゲームなどに挑戦しました。車いすスラロームでは、子どもたちが競技用の車いすに乗り込み、白の旗門を前進で、赤の旗門を後進で通過して、全長10mほどのコースを完走していました。また、ドッジビーでは、フリスビーをコントロールよく投げることが難しそうで、ねらった方向に飛ばせず、首をかしげる子どもの姿がありました。さらに、フールツバスケットと伝言ゲームでは声を出すことができず、様々なジェスチャーを駆使して他者に伝えていました。子どもたちは今回の活動を通して、障がいへの理解をさらに深めていました。

子どもたちは総合的な学習の  
福祉課企画係の3名の方々をお



＜車いすスラロームに挑戦＞

＜児童の振り返り＞今日、しょうがい者スポーツ体験をふり返って、一番心にのこったのは、車いすのきょうぎです。理由は、なぜ車いすのきょうぎが出てきたのかということ、車いすの人はもともとスポーツができなくて、それで1996年のパラリンピックに出てきたと市役所の人がそう答えたのが一番心にのこりました。後、ドッジビーでは、投げる工夫などして楽しみました。ドッジボールは、男の子が有利で女の子は不利です。ドッジビーでは女の子でも、力が入らない人でもできるのがいいと思いました。

## 5年生 「美味しいお米の炊き方」を学ぶ 10月29日(水)

と福井市キャリア教育プログラムをつなげて、福井精米株式会社の3名の社員をお招きし、『美味しいお米の炊き方』についてお話を伺いました。まず、子どもたちはお米の洗い方を学び、実際に2種類のお米（コシヒカリとミルキークイーン）を、グループごとに洗いました。手順は次のとおりです。1) ボウルにお米を入れる 2) お水を入れて、すぐにざるへ移して水をきる（最初の水はすぐ捨てる!） 3) ざるからボウルへお米を戻し、お米をやさしく握って洗う（10回くらいグーパーするだけ） 4) ボウルにお水を入れて、ざるで水をきる（2回繰り返す） 5) 炊飯器のお釜にお米を入れて、お水を測っている 子どもたちはお米の洗い方が家庭で行っている方法と違うことに気づき、驚いていました。その後、炊飯器のスイッチを入れると、炊き上がるまでの時間に、福井精米株式会社の業務内容や、稲の育ち方、米の流通等について、クイズを交えた話に耳を傾けていました。最後の2種類のご飯を食べ比べる活動では、味の違いや食感の違いに全員が気づき、好みはそれぞれで異なりました。

家庭科の学習「食べて元気に」



＜お米を洗っている様子＞

＜児童の振り返り＞わたしが思った事は、味わって食べると、ご飯がこんなにおいしいんだと感じたことです。いつもは味わって食べていないから、お米はおいしいと感じる事は少ししかないけど、お米を味わって食べてみると、いつもより何倍もおいしい気がしました。だから、お米は味わって食べたいです。

## 1・2年生 自然の中で体験活動を楽しむ 10月31日(金)



＜森のすてきな宝物を探し回りました＞

1・2年生が合同で、バスに乗って「森のほうかご VILLAGE」へ校外学習に行きました。小雨に降られながらも、秋の森ですてきな宝物をたくさん見つけたり、自然物で工作をしたり、自然をたっぷりと感じる一日となりました。また、1・2年生だけのこフレ班で力を合わせ、仲よく活動することもできました。特に年輪キーホルダーづくりでは一人一人の思いや考えが詰まったオリジナルのキーホルダーができました。さらに、キンドリングクラッカーを使って、薪割りも体験しました。薪を使ったたき火はとてもあたたかかったようです。加えて、子どもたちは拾った宝物で森のプレートをつくったり、遊具で元気に遊んだり、たくさんの思い出ができました。

## 3年生 福井県立歴史博物館を訪れる 10月31日(金)



＜学芸員さんの説明を聞く様子＞

社会科の学習「市の様子とくらしのうつりかわり」の一環として、福井県立歴史博物館へ行きました。子どもたちは、昭和30～40年代の町並みや農家を再現した「昭和のくらし」コーナーを見学しながら、当時の市の様子やくらしの移り変わりについて、学芸員さんから説明を聞きました。また、オープン収蔵庫では「博物館の裏舞台」がイメージされていて、戸棚や引き出し、壁面、台などに、越前和紙、和紙を作る道具、農具、昔の電化製品（ラジオ、蓄音機など）といった品々が並んでいて、子どもたちは当時のくらしに思いをはせ、学びを深めていました。